

2026年9月2日

株式会社小田急箱根

登録有形文化財「白雲洞茶苑」 お茶室ガイド&抹茶を点てられる無料体験イベントを開催！ ～静寂に包まれた歴史的な由緒あるお茶室で特別体験～

株式会社小田急箱根(本社:神奈川県小田原市 社長:水上 秀博)が運営する箱根強羅公園にある「白雲洞茶苑」では、9月8日(火)と9月9日(水)に「お茶室ガイド付き抹茶体験イベント」を開催します。本イベントは、箱根強羅公園スタッフによる建物の歴史解説ののち、お客さま自らが流儀や作法にとらわれずに抹茶を点てることができます。100年を超える由緒ある茶室の歴史や文化に触れながら、特別な抹茶体験をお楽しみください。

白雲洞茶苑は、強羅エリアを開発し実業家としても知られる益田孝(鈍翁^{どんのう})によって、多くの方に親しみやすい「田舎家の席」として1910年代に建設され、1922年には原富太郎(三溪^{さんけい})、1940年には松永安左エ門(耳庵^{じあん})に引き継がれました。こうした明治・大正・昭和を代表する三大茶人の想いを引き継ぎ、体験イベントを開催いたします。

イベント概要は下記のとおりです。



白雲洞茶苑「白雲洞」



イメージ

記

1. 「お茶室ガイド付き抹茶体験イベント」

- (1) 体験内容 強羅公園スタッフによる白雲洞茶苑の歴史と建物の解説後、白雲洞にて、抹茶の点て方を学びます。(お菓子・お土産付)

※体験後にはアンケートにご回答いただきます

- (2) 開催日時 ①2026年9月8日(火) ②2026年9月9日(水)

1回目 11:00～11:40

2回目 13:30～14:10

3回目 14:45～15:20

- (3) 場所 白雲洞茶苑「対字斎」「白鹿湯」「白雲洞」

- (4) 対象人数 1回につき最大6名

※事前予約制

※未就学児は付き添いが必要です

※当日空きがある場合は当日受付可能

(5) 体験時間 約40分(ガイド25分+抹茶体験15分)

(6) 体験料 無料

※別途箱根強羅公園入園料が必要です

(7) 予約期間 9月2日(水)～9月7日(月) 9:00～17:00

(8) 予約方法 直接箱根強羅公園に申し込みください(0460-82-2825)

2. 箱根強羅公園について

(1) 営業時間

3月～11月	9:00～17:00(最終入園時間16:30)
12月～2月	9:30～16:30(最終入園時間16:00)
休業日	年中無休(年3回メンテナンス休園日あり)

(2) 入園料

大人650円(税込)・小学生以下無料

・箱根フリーパス、のんびりきっぷ、大涌谷きっぷをご利用の方は入園無料
(デジタルチケットを含む)

・当日・翌日再入園可

※レシートを窓口でご提示ください

※箱根強羅公園・箱根美術館共通入場券は再入園いただけません

3. お問い合わせ 株式会社小田急箱根 施設事業部

TEL. 0465-32-6827(平日9:00～17:00)

ホームページ <https://www.hakonenavi.jp/gorapark/>

公式Instagram【強羅公園】 @hakone_goura_park

以 上

箱根強羅公園(はこねごうらこうえん)

箱根登山電車の終着駅、強羅に大正3年(1914年)に開園された、日本初のフランス式整型庭園です。フランス式整型庭園とは、平坦で広大な敷地に左右対称に幾何学的に噴水池などを配置した特徴がありますが、強羅公園は傾斜面に作られています。当時は強羅エリアの開発にあわせて計画され、別荘の居住者や開園5年後に開通した「箱根登山鉄道」の多くの利用者に親しまれてきました。

現在も昔も変わらない広い空と山々に囲まれた開放的な公園は、2004年に体験工房「箱根クラフトハウス」、後にサンドイッチ料理レストラン「一色堂茶廊」がオープンし、1日を通して様々な体験を楽しめるのが魅力です。

白雲洞茶苑（はくうんどうちゃえん）

箱根強羅公園にひっそりと佇む「白雲洞茶苑」は、白雲洞をはじめ、不染庵、対字齋、寄付など4棟の茶席と、当時は岩風呂として使われていた白鹿湯から成り立つお茶室群です。流儀や作法にとらわれず、自由に楽しくお茶席を楽しんでいただける「田舎家の席」として親しまれていました。

2001年には登録有形文化財（建造物）として指定され、明治・大正・昭和に渡り、近代数奇の「三大茶人」と呼ばれた鈍翁、三溪・耳庵に引き継がれ110年以上も大切に保全されています。